

ごあいさつ

謹啓、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本結晶学会では、平成 19 年度年会を東京工業大学で開催することになりました。本年会では、結晶学を基盤とする物理、化学、生物分野の学術研究の成果発表が約 200 件で、参加者が約 400 名の規模を想定しております。内容としましては、シンポジウムや学会賞受賞特別講演等を企画し、口頭発表とポスター発表を合わせて結晶学が関わる幅広い分野の最新の研究成果を発表していただき、討論や情報交換によって関連分野の発展に貢献したいと考えております。

特に、蛋白質を対象としている多くの結晶学会員が関わってきましたタンパク 3000 プロジェクトは多くの研究成果を得て成功裏に終了し、新しくターゲット指向型タンパク質構造研究が展開されようとしており、蛋白質の構造解析に基づく機能解明に関する発表がさらに増えることが予想されます。また、医薬品や機能性材料に関連する基礎と応用研究、実験装置や解析技術に関連する開発研究なども活発に展開されており、日本結晶学会年会で発表されます多くの成果は諸種の産業の発展にも直結するものと期待されます。このため、結晶学に関連する X 線回折装置やソフトの関連会社、さらに蛋白質をはじめ研究対象物質の調製に関わる試薬や装置、関係するツールやキットなどの消耗品を開発する諸事業団体や販売する関連会社にも最新の製品をご紹介していただき、研究者への技術情報の提供をお願いしているところでございます。この機会に関連企業・団体と研究者の皆様が年会の場をご利用していただき情報交換などの交流を通じて、結晶学を中心とした科学研究の進展に役立てていただきたいと思います。

本年会実行委員会では、できるだけ多くの方に年会に参加をしていただき、有意義な会議となりますように鋭意努力いたす所存であります。実りのある会議にするためには各種企業ならびに諸団体からのご支援に頼らざるを得ない状況にあります。その具体策として、情報のご提供を研究成果発表要旨集に印刷提示する広告方式と、ポスター発表会場の近くでブースを設定して直接参加者との対話しながら情報提供をしていただく展示方式の 2 種類の方法を予定しております。つきましては、別紙趣意書にご賛同をいただき是非にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

2007 年 7 月

日本結晶学会平成 19 年度年会実行委員会委員長
竹中章郎（東京工業大学）

「日本結晶学会 2007 年度年会」 開催および広告料募金趣意書

1. 会議の名称

「日本結晶学会 2007 年度年会」

2. 主催団体

主催：日本結晶学会

3. 会期と会場

会期：2007 年 12 月 1 日（土）～2 日（日）（2 日間）

会場：〒152-8550 東京都目黒区大岡山二丁目 12 番 1 号

国立大学法人 東京工業大学 西 9 号館（大岡山キャンパス）

4. 会議の目的

日本結晶学会は、結晶学に関係した物理、化学、生命科学、薬学、材料科学、地球科学等の研究者によって構成される学際的な組織（会員数 約 1200 名）であり、結晶学およびこれに密接に関連する物質科学から生命科学までの広範な先端的科学技術分野の進歩・発展を目的とした伝統ある学会であります。また、SPring-8 など放射光科学の中心的な研究分野である回折結晶学を包含しています。

日本結晶学会は、国際的には日本学術会議の結晶学研究連絡委員会を通じて、国際結晶学連合(IUCr)に加盟しており、世界的な活動を行っております。また、国内的には、年 1 回の学術研究の発表の場としての日本結晶学会年会を毎年開催しています。

日本結晶学会年会は、結晶学およびこれに密接に関連する研究分野の最新の研究成果を発表し、学術研究の進展を通して人類の福祉の向上への貢献を目的としており、毎年 1 回秋に各地で開催されています。高エネルギー加速器研究機構や SPring-8 での蛋白質結晶構造解析やナノテク材料の構造解析等の最新の研究成果が日本結晶学会年会の主要な研究発表の一つであることから、日本結晶学会評議員会（2005 年 12 月開催）において 2007 年度年会を東京工業大学で組織する実行委員会により開催することが決定されました。

このような経緯を踏まえ、本年会では結晶学およびこれに密接に関連する研究分野の最新の研究成果を発表し、基礎科学の進展および産業利用に資することを目的とします。

5. 研究発表の主な内容

- ・核酸や蛋白質の結晶構造解析による生命科学研究
- ・ナノ無機材料の粉末回折法や電子顕微鏡を用いた材料科学研究
- ・高温超伝導体、強磁性体、誘電体等の物性物理学関連の構造科学研究
- ・有機化合物および有機金属化合物の機能等に関する構造化学的研究
- ・鉱物結晶や無機結晶の高圧構造解析などの地球科学研究
- ・放射光・中性子等を用いた構造解析手法の開発等に関する研究

6. 会議の概要

- (1) 会議の構成：招待講演、一般講演、ポスター発表、
日本結晶学会総会および各種委員会
- (2) 発表件数：招待講演 約5件
口頭発表 約70件
ポスター発表 約200件
- (3) 参加予定者：国内 約400名
- (4) 論文集：講演要旨集を発行

参加登録費（講演要旨集代金を含む）：

当日受付の場合は、会員 4,000 円、学生会員 2,500 円、非会員 5,000 円

事前申込の場合は、会員 3,000 円、学生会員 2,000 円、非会員 4,000 円

7. 運営組織

年会実行委員会

委員長：東京工業大学大学院生命理工学研究科 竹中章郎
(045-924-5709, atakenak@bio.titech.ac.jp)

委員：阿竹 徹（東京工業大学）	植草 秀裕（東京工業大学）
奥部 真樹（東京工業大学）	尾関 智二（東京工業大学）
川路 均（東京工業大学）	熊坂 崇（東京工業大学）
佐々木 聡（東京工業大学）	篠崎 和夫（東京工業大学）
関根あき子（東京工業大学）	高柳 邦夫（東京工業大学）
谷城 康眞（東京工業大学）	東條 壮男（東京工業大学）
中山 将伸（東京工業大学）	濡木 理（東京工業大学）
森 健彦（東京工業大学）	八島 正知（東京工業大学）
山崎陽太郎（東京工業大学）	山本 直紀（東京工業大学）
中井 泉（東京理科大学）	

プログラム委員会

委員長：東京工業大学大学院総合理工学研究科 高柳邦夫
(03-5734-2078, takayang@surface.phys.titech.ac.jp)

委員：植草 秀裕（東京工業大学）	尾関 智二（東京工業大学）
熊坂 崇（東京工業大学）	濡木 理（東京工業大学）
佐々木 聡（東京工業大学）	山本 直紀（東京工業大学）
中井 泉（東京理科大学）	

8. 日本結晶学会の組織概要

(1) 学会の運営組織

会長	月原 富武（阪大蛋白研）
庶務幹事	佐藤 衛（横浜市大）
会計幹事	杉山 和正（東北大学）

編集幹事 吉朝 朗 (熊本大学)
行事幹事 中井 泉 (東京理科大)
情報幹事 安井 正憲 (電気通信大学)
広報幹事 関根あき子 (東工大院理工)

(2) 評議員会

雨宮慶幸 (東大院理)	関根あき子 (東工大院理)
井上 豪 (阪大院工)	高田昌樹 (理研播磨)
大隅一政 (NASA)	竹中章郎 (東工大院生命理工)
小川桂一郎 (東大院)	鳥海幸四郎 (兵庫県立大)
甲斐 泰 (阪大院工)	中井 泉 (東京理科大)
上村みどり (帝人(株))	濡木 理 (東工大院生命理工)
神谷信夫 (阪市大理)	野田幸男 (東北大)
神山 崇 (高工ネ機構)	福山恵一 (阪大院理)
栗栖源嗣 (東大大学院)	藤井保彦 (日本原子力研)
今野美智子 (お茶の水女子大理)	三木邦夫 (京大院理)
坂田 誠 (名大院理)	宮原郁子 (大阪市立大理)
佐々木 聡 (東工大応セラ研)	山縣ゆり子 (熊大院薬)
佐藤 衛 (横浜市大)	山根 隆 (名大院工)
下村 理 (高工ネ機構)	若槻莊市 (高工ネ機構)
菅原洋子 (北里大理)	渡邊信久 (北大院理)

(3) 学会事務局

住所： 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 大塚三丁目ビル 7F
日本結晶学会事務局
連絡先： TEL: 03-5940-7640、FAX: 03-5940-7980
E-mail: cr-info@realize-at.jp
Home Page : <http://www.crsj.jp/>

9 広告料募金を必要とする理由

本年度の日本結晶学会年会では国内から約400の参加を予定しておりますが、開催の準備、運営に関する経費は総額4,000千円近くに達すると予想されます。参加者が十分な発表と質疑応答を行うためには、かなりの規模を持った会場が必要であります。経費節減を基本に東京工業大学内の施設を利用することにして計画を進めていますが、参加登録料だけでは会議の運営が難しいというのが現状であります。したがって、必要経費の一部を諸団体、企業、個人等の浄財からのご援助に頼らざるを得ない状況にあります。会議運営に要する予算総額4,000千円の内、参加登録料を除く約2,000千円を広告料によって充当したいと考えています。

まことに恐縮であります。本年会を成功させるために何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願いする次第であります。

日本結晶学会 2007 年度年会
広告料募集要項

1. 広告料募金の名称

日本結晶学会 2007 年度年会

2. 募金の目標額

2,000 千円 (経費総額 4,000 千円)

3. 募金の使途

平成 19 度 (2007 年度) 日本結晶学会年会の準備・運営及び関連行事の費用に充当します。

4. 広告の形態

(1) 要旨集 (A4 サイズ) にモノクロ印刷 (カラー希望の場合は別途相談)

広告掲載料金

(a) 裏表紙	100,000 円
(b) 表紙裏	90,000 円
裏表紙裏	90,000 円
(c) その他の頁	80,000 円 / 1 頁 40,000 円 / 半頁

発行部数 : 600 部 .

発行予定 : 平成 19 年 12 月上旬

原稿締切 : 平成 19 年 10 月 19 日 (金) 必着

(2) 展示広告

出品料金

(a) ブース使用料	100,000 円
ブースの形態、幅 180cm (90cm 幅パネル 2 枚) 机 1 台と椅子 2 脚	
(b) 電源使用料金	30,000 円

会 場

東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館 2 階メディアホール
(受付横デジタル多目的ホール前)

〒152-8550 東京都目黒区大岡山二丁目 12 番 1 号

搬入設置 : 11 月 30 日 (金) 15:30 ~ 18:00

展示期間 : 12 月 1 日 (土) 9:30 ~ 17:00 (設置 9:30 ~ 12:00)

12 月 2 日 (日) 9:30 ~ 15:30 (撤去 15:30 ~ 18:00)

5. 広告資料の扱いについて

注1：展示物品の管理は出品者が責任をもつものとし、期間中の出品物の盗難・紛失・火災・損傷など、不可抗力による出品物の損傷に対して、補償等の責任は一切負いませんので、ご了承ください。

注2：印刷原稿は一括処分いたします。返却を必要とする場合には、その旨を予め明記して下さい。

6. 広告の申込先

〒226-8501 横浜市緑区長津田町 4259
東京工業大学大学院生命理工学研究科 (J2-11)
日本結晶学会 2007 年度年会実行委員長 竹中章郎
Email, atakenak@bio.titech.ac.jp
電話 045-924-5709, FAX 045-924-5748

7. 申込方法

別紙の申込書に必要事項をご記入の上、上記の申込先のご提出ください。

料金は下記の郵便振替口座にお支払いください。

締切日：平成 19 年 10 月 19 日（金）

8. 郵便振替による送金

口座名称：日本結晶学会 2007 年度年会

口座番号：00160-1-412147

9. 募金の管理方法

募金の経理は、下記の担当者（日本結晶学会 2007 年度年会実行委員）が代表して年会実行委員会で管理します。

経理担当者：関根あき子

〒152-8550 東京都目黒区大岡山二丁目 12 番 1 号
東京工業大学大学院理工学研究科

上記に相違ないことを証明します。

〒226-8501 横浜市緑区長津田町 4259
東京工業大学大学院生命理工学研究科
日本結晶学会 2007 年度年会実行委員長
竹中章郎

日本結晶学会 2007 年度年会広告申込書

平成 19 年 月 日

日本結晶学会 2007 年度年会実行委員会委員長殿

以下の要領に従って広告を申請いたします。

広告の種類と形態				
広告の種類	広告の形態		料金	申請件数
要旨集に印刷広告	(a) 裏表紙		100,000 円	
	(b) 表紙裏と裏表紙裏 (各)		90,000 円	
	(c) その他	1 頁	80,000 円	
		半頁	40,000 円	
展示広告	(a) ブース使用料		100,000 円	
	(b) 電源使用料金		30,000 円	

社名 / 団体名等 :	印
所在地 : (〒)	
代表電話番号 :	
担当者名 :	印
担当者所属 :	
担当者連絡先 :	TEL FAX E-mail